

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道医薬専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務	薬業		医薬品販売専攻 1170時間 ヘルス&ビューティ専攻 1170時間 薬剤師アシスタント専攻 1170時間	160時間	
	医療事務		病院事務専攻 1170時間 病院秘書クラーク専攻 1170時間 調剤薬局事務専攻 1170時間	160時間	
医療専門	診療放射線		1935時間	240時間 (9単位)	
	看護		2298時間	240時間 (9単位)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/2_teacher_subject.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道医薬専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/6_officer.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	私立学校法人前校長	2020.4.1～ 2024.3.31	各部会との調整
非常勤	民間企業職員	2020.4.1～ 2024.3.31	関連業界との調整
非常勤	弁護士事務所所長	2020.4.1～ 2024.3.31	専門的な助言
非常勤	司法書士事務所所長	2020.4.1～ 2024.3.31	専門的な助言
非常勤	私立学校法人理事	2020.4.1～ 2024.3.31	関連業界との調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道医薬専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画(シラバス)の作成は、学科内で専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師とともに再検討し決定する。作成した授業計画(シラバス)は、全学科(専攻)・学年で学生並びに講師へ周知し、ホームページにて公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>薬業学科 https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/syllabus1_yakuzai.pdf 医療事務学科 https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/syllabus2_iryoujimu.pdf 診療放射線学科 https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/syllabus4_hoshasen.pdf 看護学科 https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/syllabus5_kango.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画(シラバス)内にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。 履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の用かが1つもないことを条件とする。 なお、学修成果の評価に係る取組の概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの催促において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。 学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標の算定方法としてG P Aを採用し、教科ごとに年間 2 期（前期評定、学年末評定）に分け成績を評価する。さらに学科ごとに成績分布状況を作成把握し、学習指導の指針とする。</p> <p>なお、2018 年度までは学科ごとに成績の分布状況の一覧表を作成していたが、2019 年度より学内統合情報システムによる一括成績管理、学科学年ごとの成績分布一覧を開始した。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/5_grade_index.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定に係る取組みは、学則第 25 条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目を全て履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/4_promotion.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道医薬専門学校
設置者名	学校法人 美専学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/2023_finance.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	薬業学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,790時間/117単位 単位時間/単位	1,005/69 単位時間 /単位	390/26 単位時間 /単位	335/20 単位時間 /単位	60/2 単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		68人	0人	2人	26人	28人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画（シラバス）の作成は、学科内専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員会の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師と共に再検討し決定する。作成した授業計画（シラバス）は、全学科・学年で学生並びに講師へ周知している。併せてホームページ上にて公表している。 学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画（シラバス）の内容について説明する。
成績評価の基準・方法
（概要）学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画（シラバス）にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。 履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもないことを条件とする。 なお学修成果の評価に係る取組の概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。 学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。

卒業・進級の認定基準 (概要) 卒業認定に係る取組は、学則第 25 条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。
学修支援等 (概要) 本人・保護者への連絡・相談等

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
35 人 (100%)	0 人 (0%)	35 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ドラッグストア、スーパー・ホームセンター内の医薬品販売部門、調剤薬局 医薬品製造業、医療システム			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、個別対応 (履歴書作成、面接練習等)			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 登録販売者 33 人/34 人、			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	5 人	6.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務	医療事務学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,805時間/118単位 単位時間/単位	1,050/70 単位時間 /単位	525/37 単位時間 /単位	230/11 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		38人	0人	2人	25人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）授業計画（シラバス）の作成は、学科内専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員会の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師と共に再検討し決定する。作成した授業計画（シラバス）は、全学科・学年で学生並びに講師へ周知している。併せてホームページ上にて公表している。</p> <p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画（シラバス）の内容について説明する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画（シラバス）にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもないことを条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組の概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）卒業認定に係る取組は、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）本人・保護者への連絡・相談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	22人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院、診療所等医療機関、調剤薬局			

(就職指導内容) 就職ガイダンス、個別対応（履歴書作成、面接練習等）
(主な学修成果（資格・検定等）) 医科医療事務管理士 22 人/22 人
(備考)（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	診療放射線学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	旧) 3,045時間/132単位 新) 3,150時間/137単位 単位時間/単位	1,965	90	630	360	0
			1,980 単位時間 /単位	90 単位時間 /単位	720 単位時間 /単位	360 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		114人	0人	7人	30人	37人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）授業計画（シラバス）の作成は、学科内専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員会の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師と共に再検討し決定する。作成した授業計画（シラバス）は、全学科・学年で学生並びに講師へ周知している。併せてホームページ上にて公表している。</p> <p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画（シラバス）の内容について説明する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画（シラバス）にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもないことを条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組の概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）卒業認定に係る取組は、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
学修支援等
<p>（概要）本人・保護者への連絡・相談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	1人 (2.7%)	37人 (97.3%)	0人 (0%)
<p>（主な就職、業界等） 病院、検査機関</p>			

(就職指導内容) 進路相談、個別面接指導
(主な学修成果(資格・検定等)) 診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
117人	4人	3.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	旧) 3,000 時間/98 単位 新) 3,015 時間/104 単位 単位時間/単位	1,980/75 1,995/81 単位時間 /単位	単位時間 /単位	1,035/23 1,035/23 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		120人	0人	8人	87人	95人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 授業計画 (シラバス) の作成は、学科内専任教員が会議にて検討、教育課程編成委員会の会議にて協議、検討した意見や提案をもとに教科担当講師と共に再検討し決定する。作成した授業計画 (シラバス) は、全学科・学年で学生並びに講師へ周知している。併せてホームページ上にて公表している。</p> <p>学生に向け、教科担当講師が新学期の最初の講義にて、授業計画 (シラバス) の内容について説明する。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 学修成果の評価については、各教科「試験・レポート・実技試験」や「出席状況・態度等」を総合的に5段階にて評価する。授業計画 (シラバス) にて教科ごとに具体的な評価基準を個々に明記している。</p> <p>履修の認定は、学年末にて5段階評価のうち「不可」が1教科もなく、かつ出席率が80%未満の教科が1つもないことを条件とする。</p> <p>なお学修成果の評価に係る取組の概要は、本校学則第19条、第20条、第21条にて明記すると共に、学科ごとの細則において単位認定、定期試験、成績評定等について明記している。</p> <p>学則、細則は入学直後に学生への説明を実施し、周知している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 卒業認定に係る取組は、学則第25条にて明記している。具体的には、全学科ともに学年ごとの設定科目をすべて履修し、所定の単位を修得した者に対し、学科ごと教員で構成する認定会議を経て、校長が認定を行う。</p>
学修支援等
(概要) 本人・保護者への連絡・相談等

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38人 (100%)	1人 (2.6%)	35人 (92.1%)	2人 (5.3%)
(主な就職、業界等) 看護師			

(就職指導内容) 就職ガイダンス、履歴書作成、面接練習等
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師国家試験
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
122 人	2 人	1.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談、保護者との連携、日常のサポート・ケア		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
薬業	100,000 円	600,000 円	145,000 円	
医療事務	100,000 円	600,000 円	145,000 円	
診療放射線	250,000 円	700,000 円	415,000 円	
看護	200,000 円	700,000 円	465,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/selfcheck_R4.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己評価ガイドラインに則り、教職員により自校の教育理念・目的・育成人材、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集、財務、法令遵守等について自己評価を行い、その結果及び改善策等について、外部委員から意見や助言をいただき、教育活動の充実を図る。学校関係者評価委員会は、卒業生を含む外部委員と学校運営に携わる教職員で構成し、年1回開催。学校運営の改善等の指針に役立てている。結果については、議事録をホームページで公表している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社アトリエ・K 一級建築士事務所	令和5年4月1日～令和6年3月31日	企業関係者
司法書士事務所 元所長	同上	企業有識者
有限会社 I.B.DESIGN	同上	卒業生・企業関係者
株式会社 a s c l a i r	同上	卒業生・企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iyaku.ac.jp/iyaku_wp/wp-content/themes/iyaku_wp/assets/data/evaluation_R05.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.iyaku.ac.jp/
--